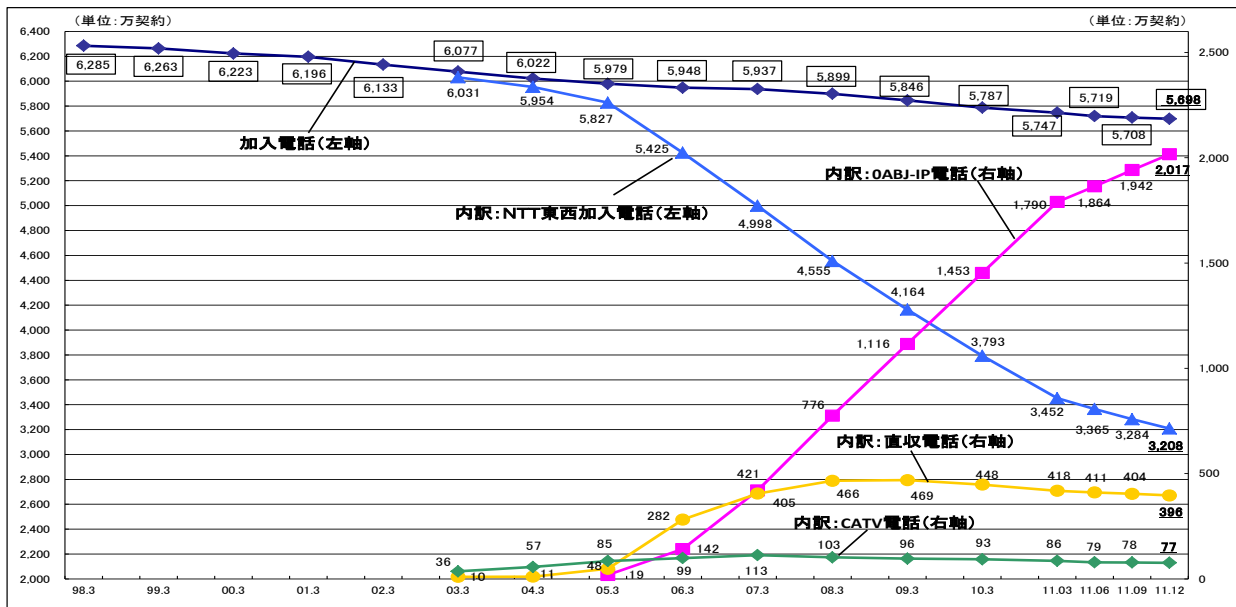


1 固定通信

(1) 加入電話

- 加入電話（NTT東西加入電話、直収電話、OABJ-IP電話及びCATV電話）全体の契約数は、11年12月末で5,698万（前期比0.2%減）と減少傾向となっている。このうち、NTT東西加入電話は3,208万（前期比2.3%減）と減少が続く一方、OABJ-IP電話は2,017万（前期比3.9%増）と増加が続いている。
- 加入電話契約数全体に占めるNTT東西のシェア（NTT東西加入電話とOABJ-IP電話の合計）は、79.6%（前期比0.4ポイント減）と減少が続いている。

加入電話の契約数の推移

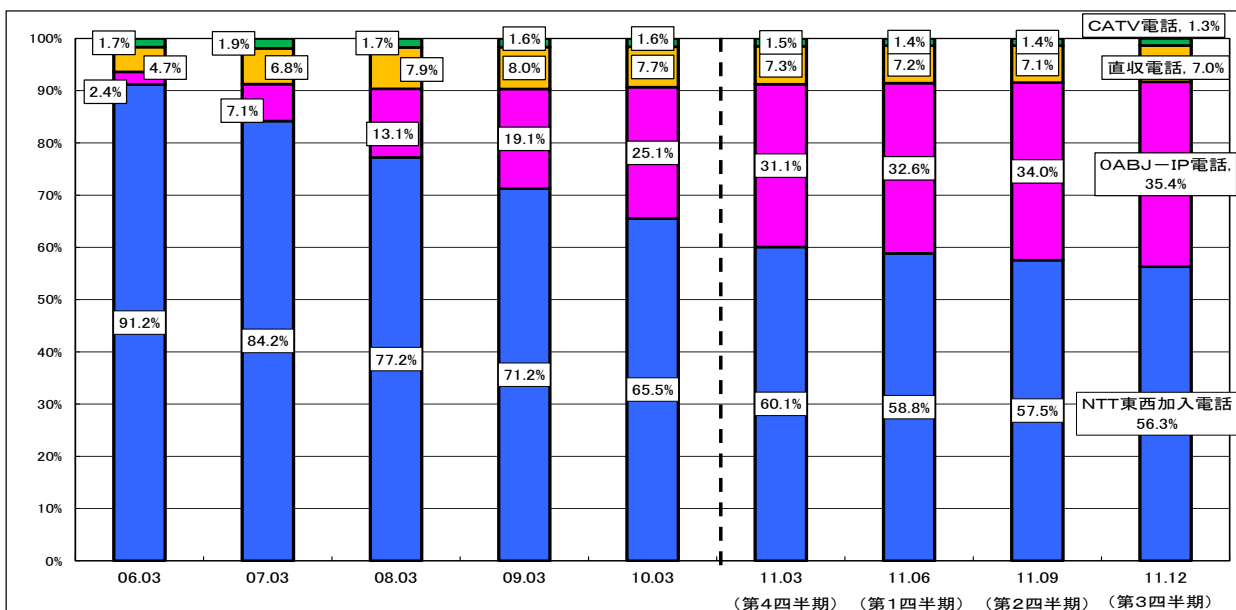


注1：加入電話とは、NTT東西加入電話（ISDNを含む）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話、CATV電話をいう。
 注2：OABJ-IP電話は、利用番号数をもって契約数とみなしている。

※ なお、OABJ-IP電話はNTT加入電話等との代替性が高いため加入電話に加えたが、IP電話としてもP.3以降に再掲している。

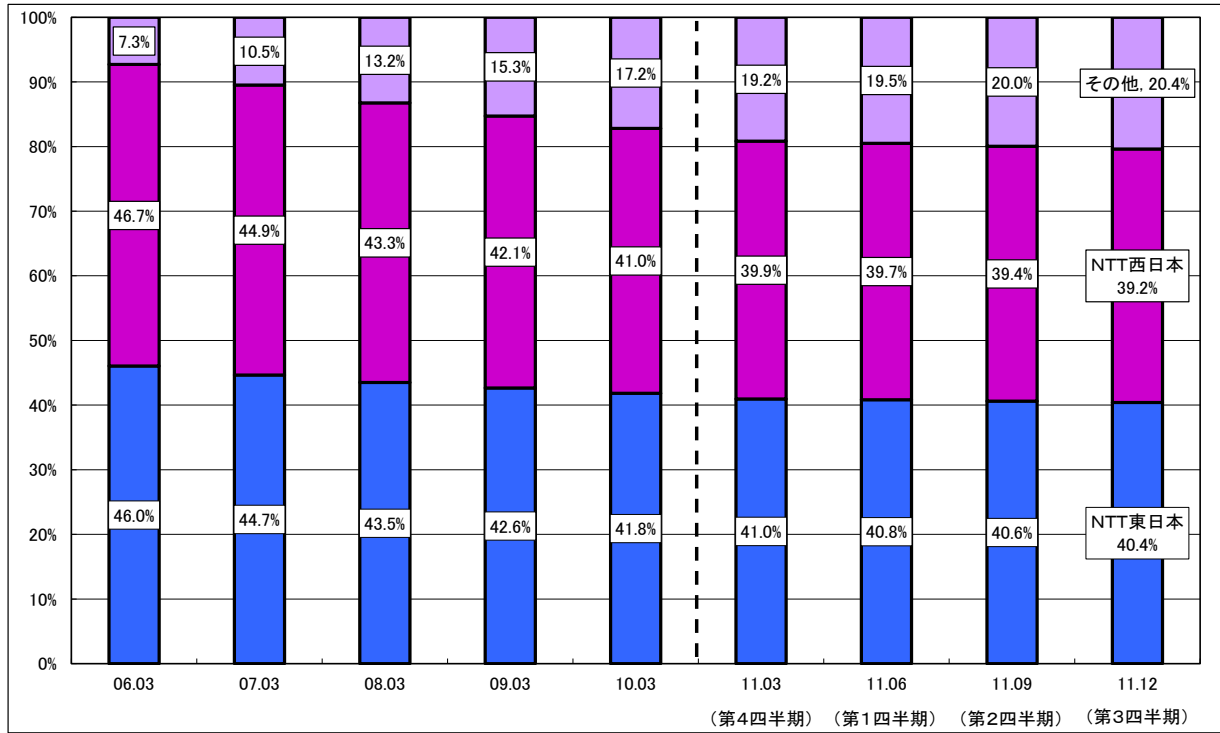
注3：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

加入電話サービスのシェアの推移



注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

加入電話の契約数に占めるNTT東西のシェアの推移



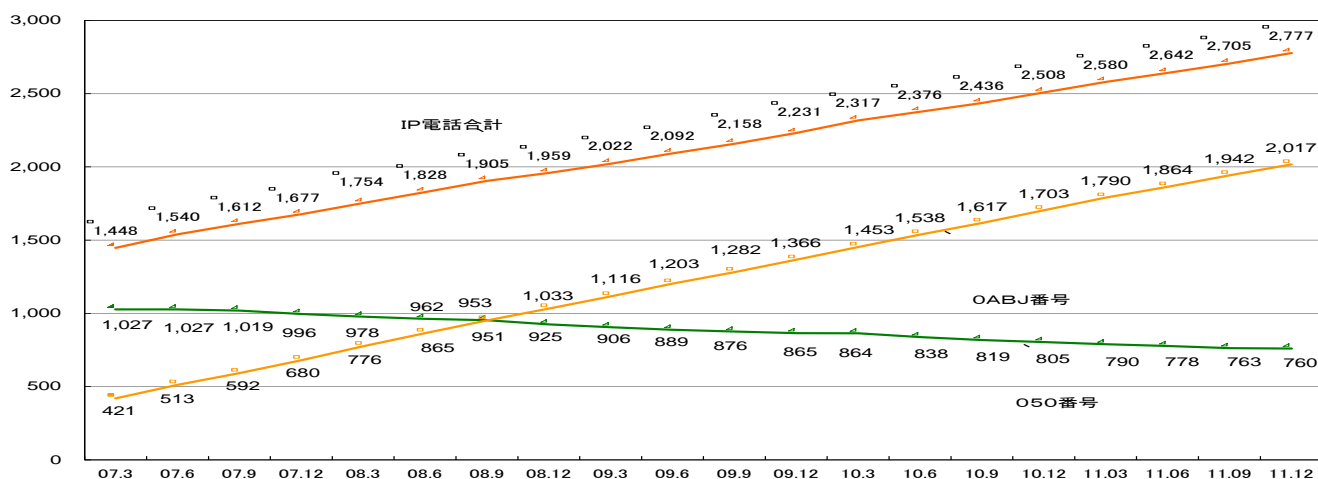
注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む）、0ABJ-IP電話の合計を示す。
 注2：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(2) IP電話

- IP電話の利用番号数は、11年12月末で2,777万（前期比2.7%増）と増加が続いている。このうち、OABJ番号の利用数は2,017万（前期比3.9%増）と増加が続く一方、O50番号の利用数は、760万（前期比0.4%減）と減少が続いている。
- OABJ番号におけるNTT東西のシェアは、65.8%（前期比0.3ポイント減）と減少を続けているのに対し、KDDIのシェアは18.2%（前期比0.8ポイント増）と増加が続いている。
- O50番号におけるシェアについては、シェア1位のソフトバンクBBは40.0%（前期比0.8ポイント減）と減少が続いているのに対し、2位のNTTコミュニケーションズは39.0%（前期比0.1ポイント増）と増加傾向となっている。

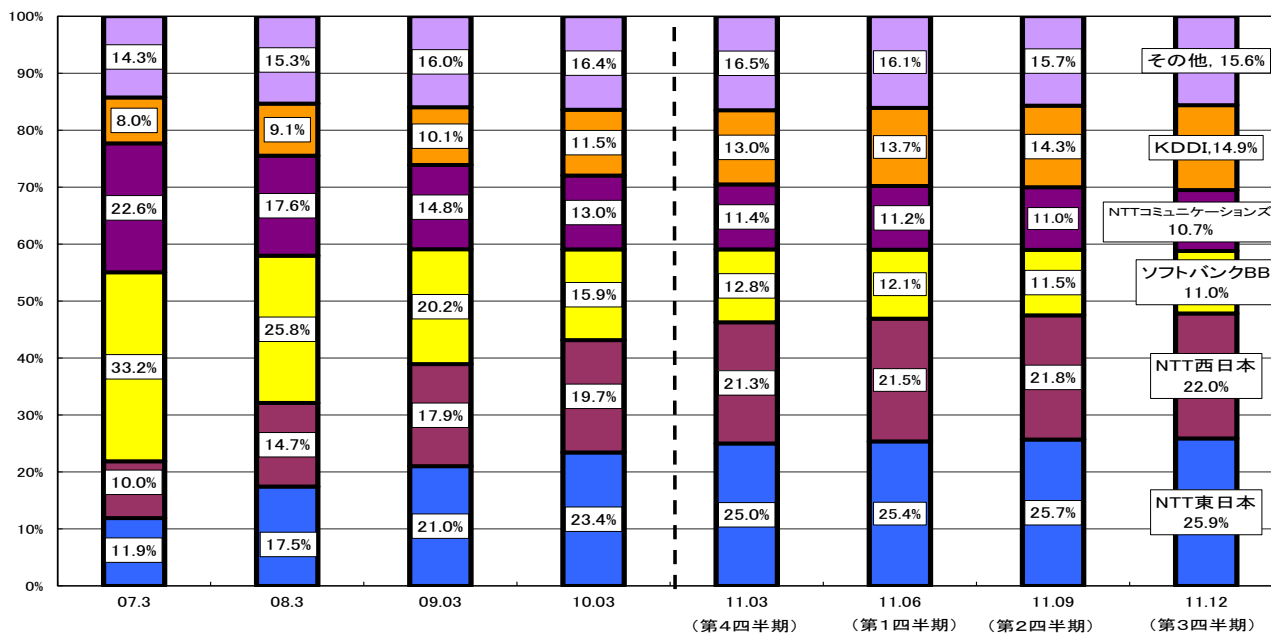
IP電話の利用番号数の推移

（単位：万番号）



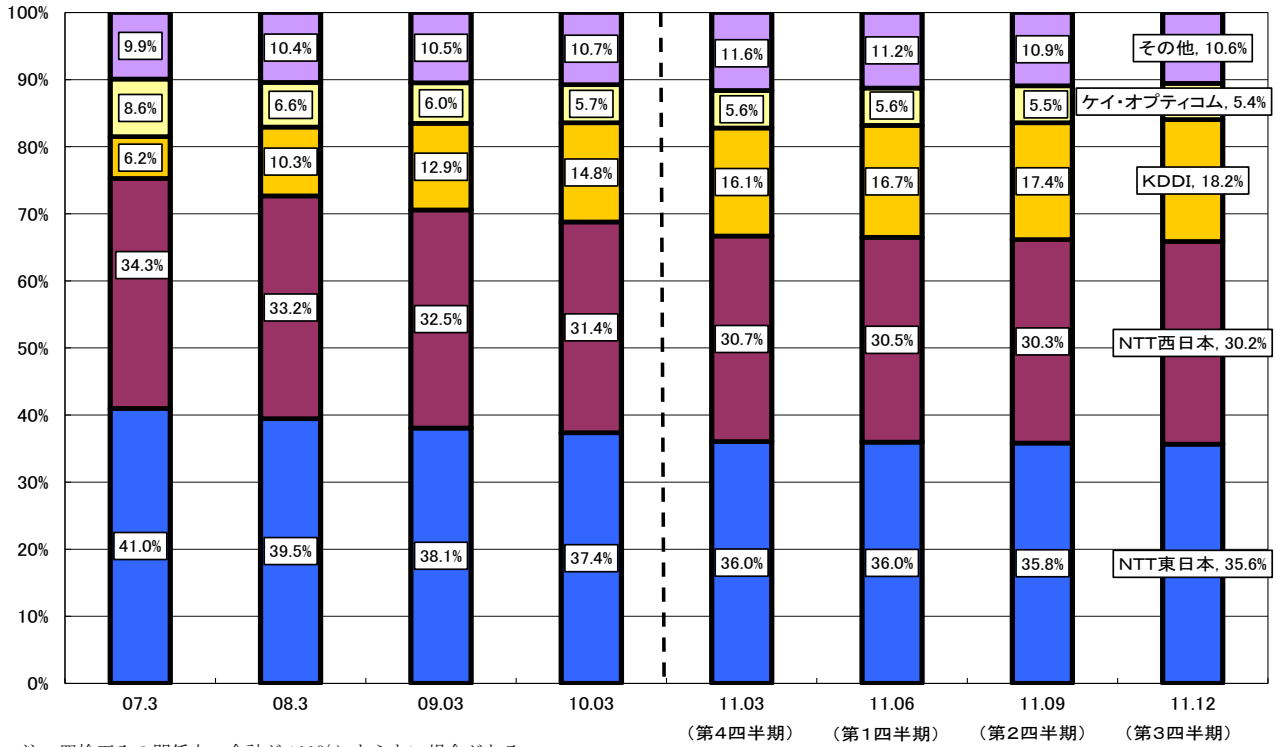
注：各利用番号数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（全体）

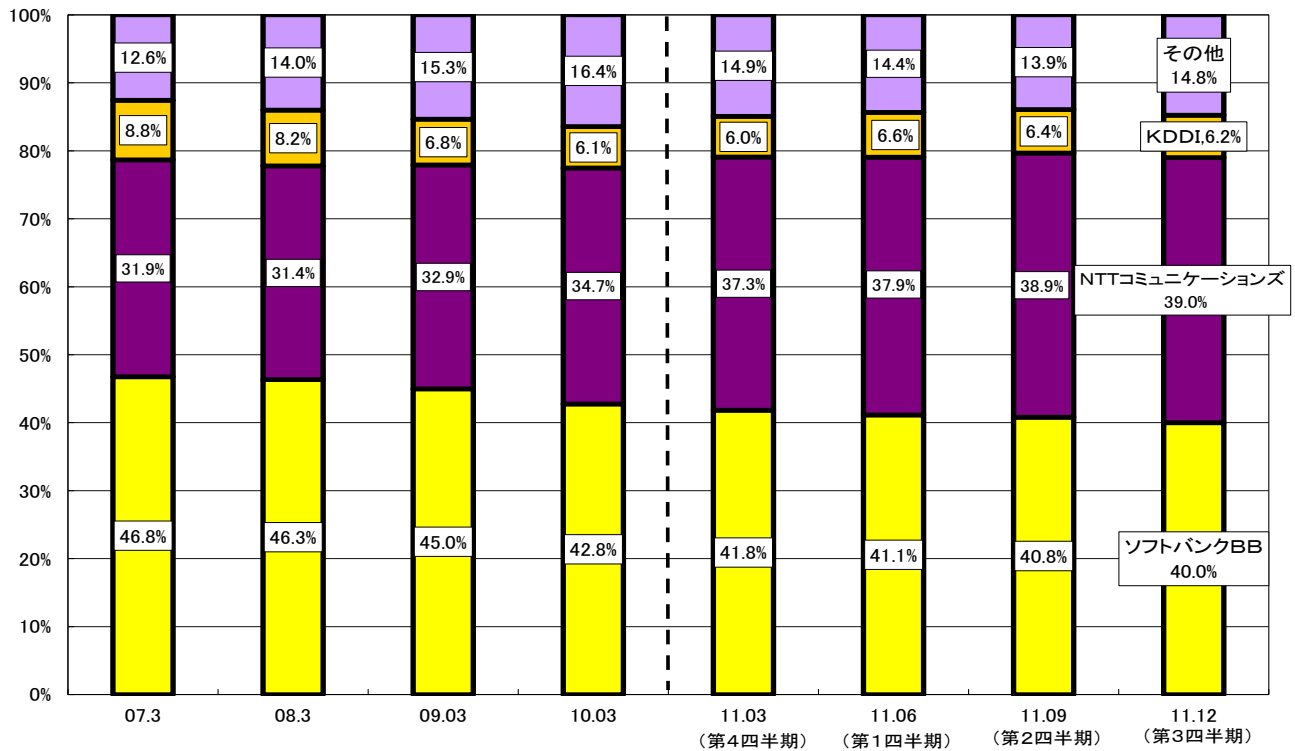


注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

I P 電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（0 A B J 番号）



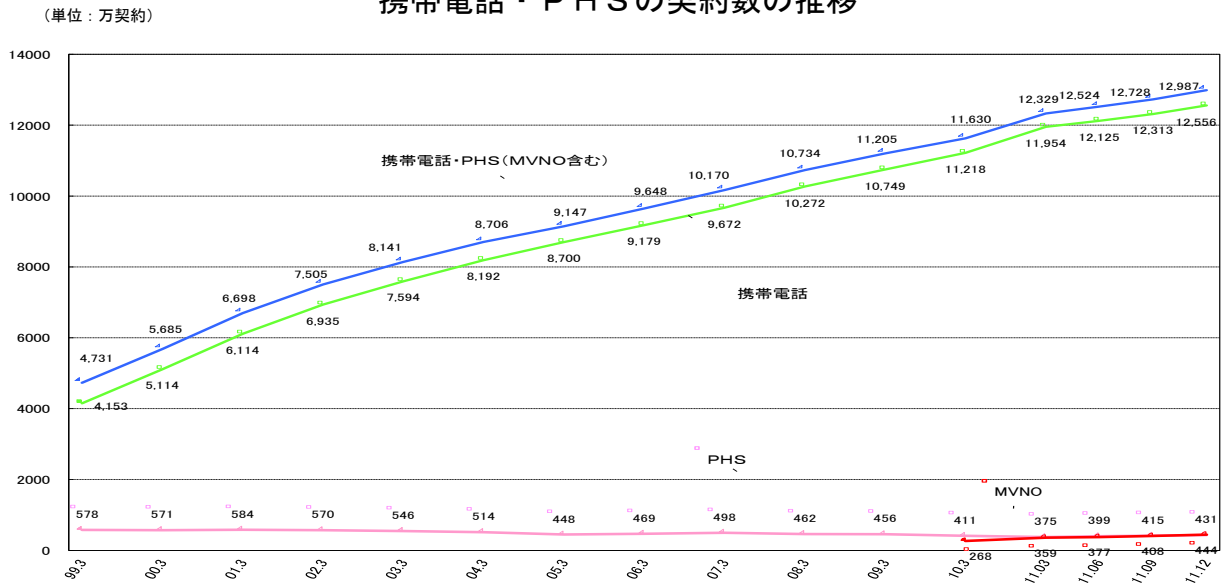
I P 電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（0 5 0 番号）



2 移動体通信

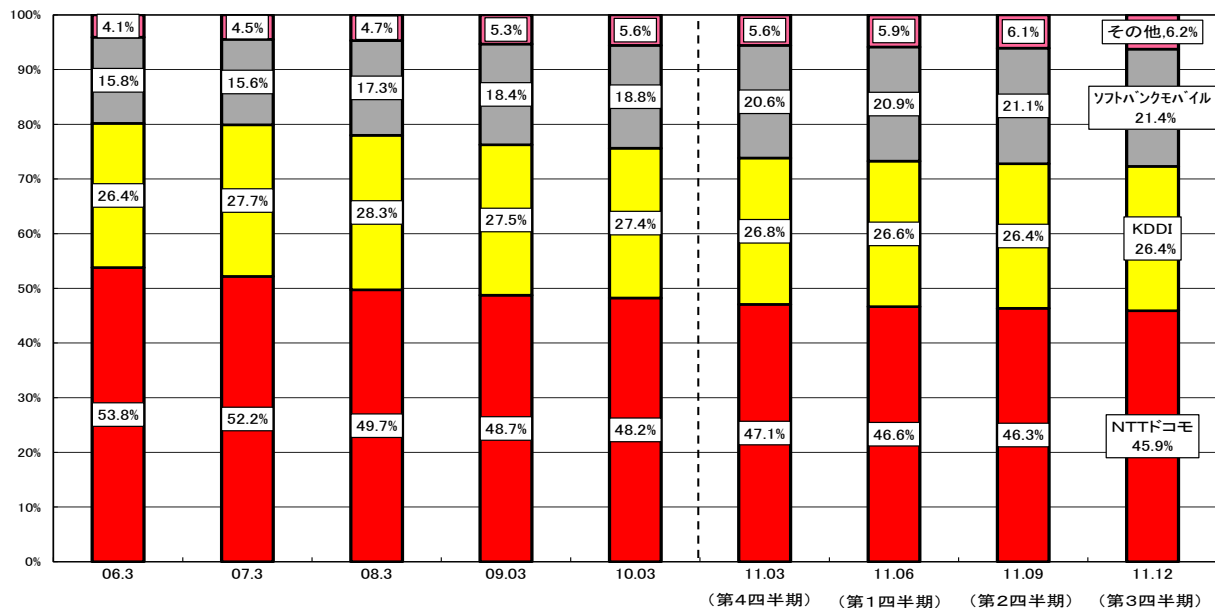
- 携帯電話・PHSの契約数（MVNO含む。）は11年12月末で1億2,987万（前期比2.0%増）と増加が続いている。携帯電話は1億2,556万（前期比2.0%増）と増加が続いている。また、PHSは431万（前期比3.9%増）と増加が続いている。
- 携帯電話・PHS契約数におけるNTTドコモのシェアは45.9%（前期比0.4ポイント減）と減少を続けている一方で、KDDIのシェアは26.4%（前期比±0）と横ばい、ソフトバンクモバイルのシェアは21.4%（前期比0.3ポイント増）と増加している。
- なお、MVNO契約数については、11年12月末で444万加入（携帯電話・PHSの契約数の内数）となっている。

携帯電話・PHSの契約数の推移



注：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

携帯電話・PHS契約数の事業者別シェアの推移



注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

注2：08年3月末までのNTTドコモにはPHS契約数が含まれている。

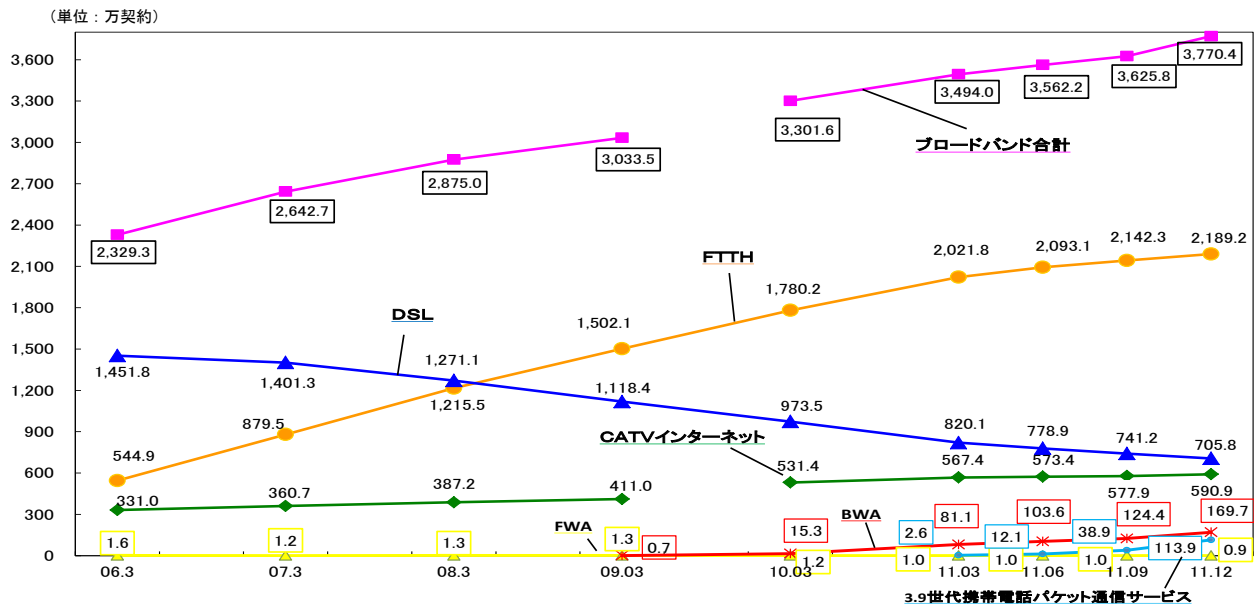
注3：ソフトバンクモバイルについては06年9月末までは旧ボーダフォンの契約数となっている。

注4：11年9月末までは社団法人電気通信事業者協会資料による。

3 インターネット接続 (1) ブロードバンド全体

- ブロードバンドサービスの契約数は11年12月末で3,770.4万（前期比4.0%増）となり、増加が続いている。
- 3.9世代携帯電話パケット通信サービスの契約数は、113.9万（前期比約2.9倍）と大幅に増加している。
- BWAの契約数は、169.7万（前期比36.4%増）と大幅に増加している。
- 固定ブロードバンド契約数におけるNTT東西のシェアは、53.8%（前期比0.2ポイント増）と増加傾向となっている。

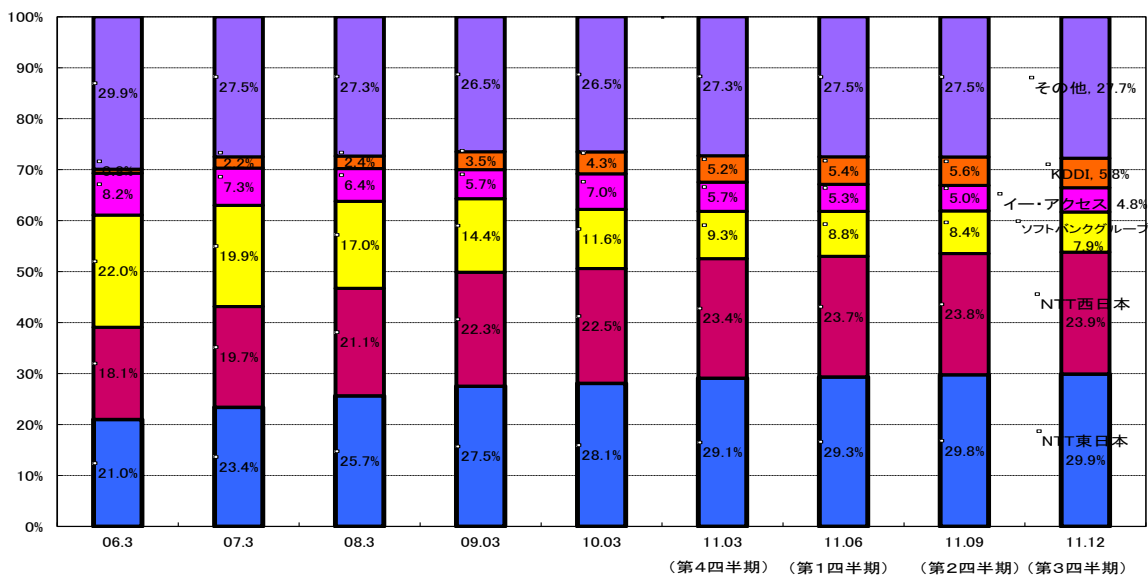
ブロードバンド契約数の推移



※ 一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末のブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

注：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

固定ブロードバンド契約数の事業者別シェアの推移



注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

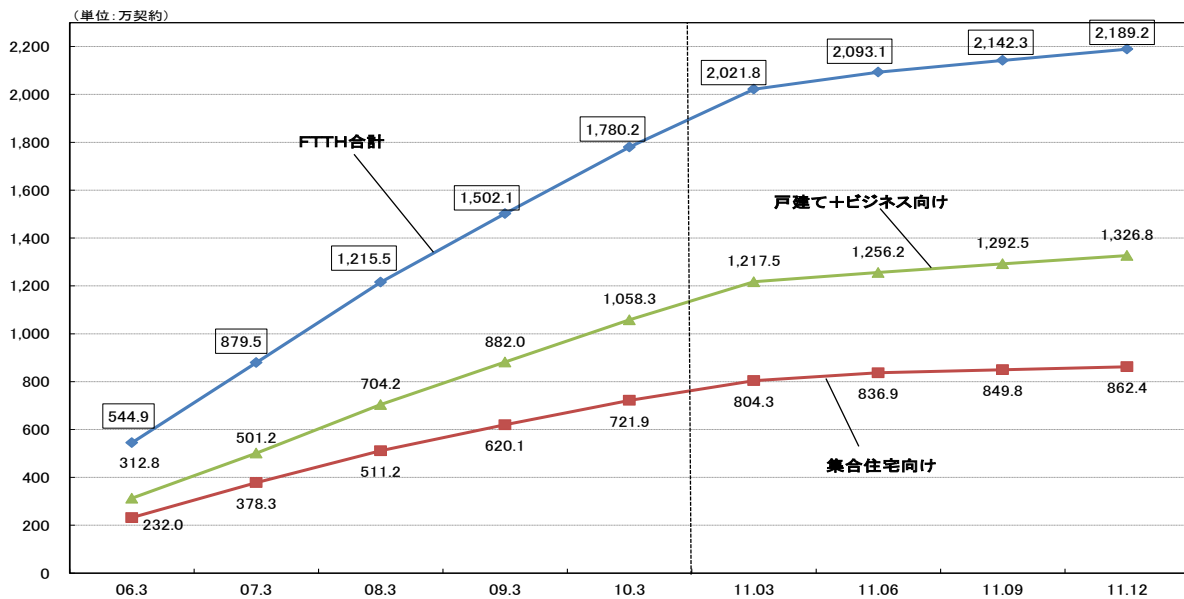
注2：09年6月にイー・アクセスがアッカ・ネットワークスを合併したことに伴い、09年第1四半期より、アッカ・ネットワークスはイー・アクセスに含める。以下同じ。

注3：このブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービス、BWAアクセスサービス及び3.9世代携帯電話パケット通信アクセスサービスを含んでいない。

(2) FTTH (光ファイバ)

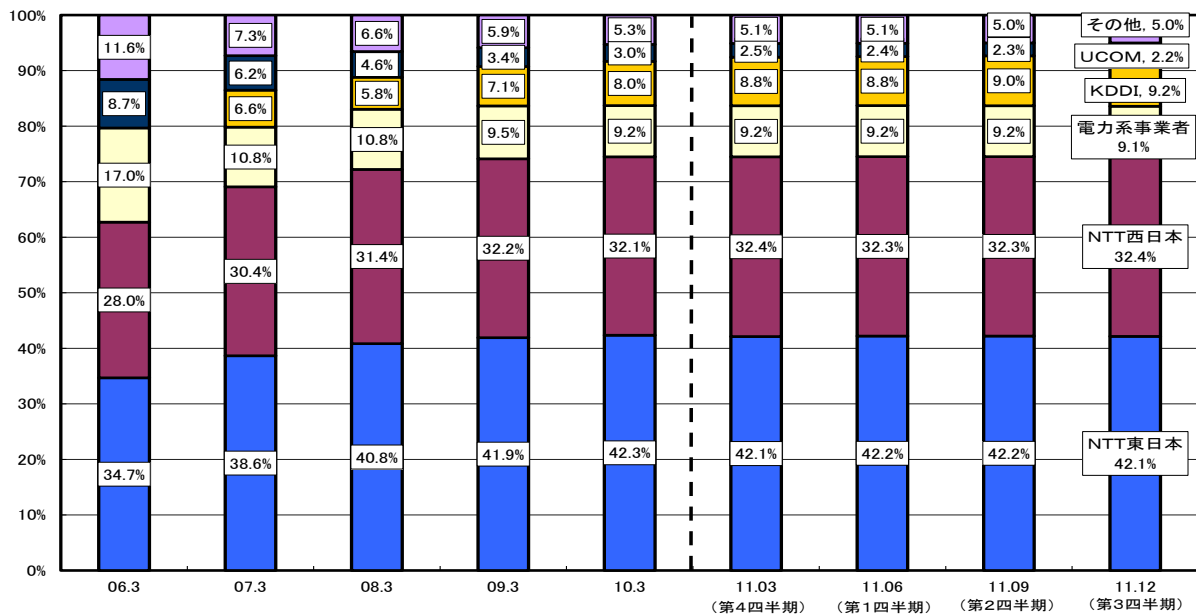
- FTTHの契約数は11年12月末で2,189.2万(前期比2.2%増)と増加が続いている。
- 全体のシェアについては、NTT東西のシェアは74.5%(前期比±0)、電力系事業者は9.1%(前期比0.1ポイント減)、KDDIは9.2%(前期比0.2ポイント増)とおおむね横ばいとなっている。
- NTT東西のシェアについては、「戸建て+ビジネス向け」は76.3%(前期比±0)、「集合住宅向け」は71.8%(前期比0.1ポイント増)でおおむね横ばいとなっている。

FTTH契約数の推移



注: 各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

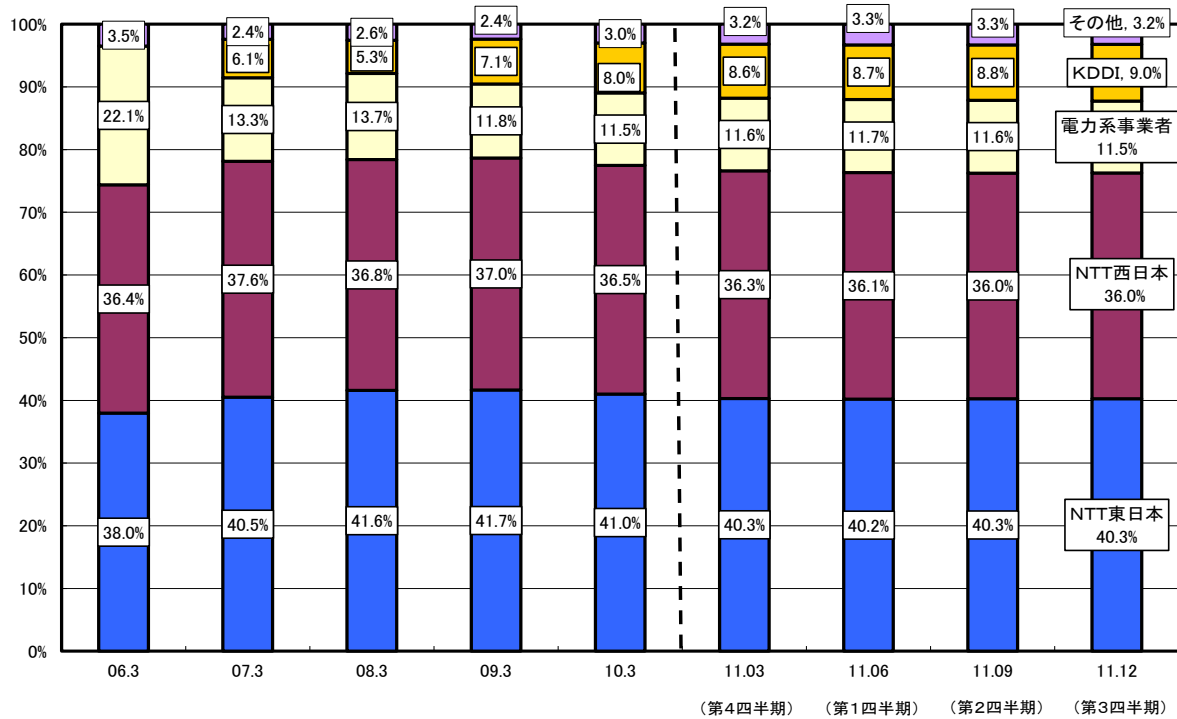
FTTH契約数の事業者別シェアの推移 (全体)



注1: 中部テレコミュニケーションは、08年4月の株式の一部譲渡により、KDDIに含める。以下同じ。

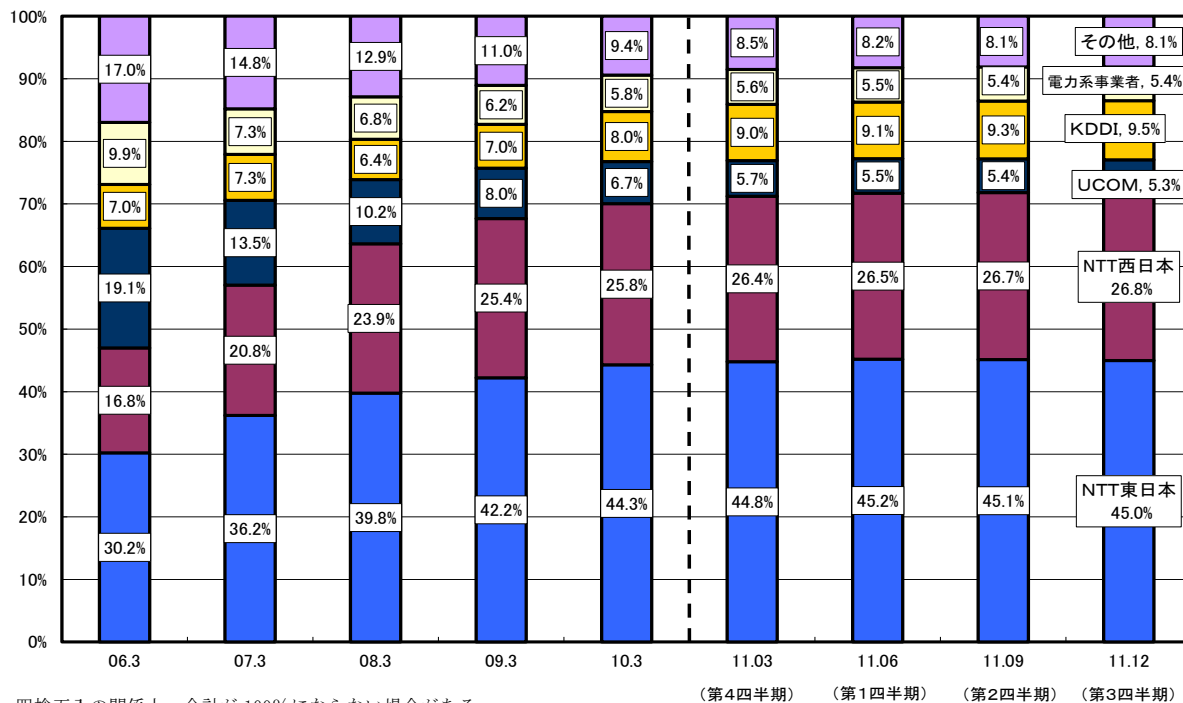
注2: 四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（戸建て+ビジネス向け）



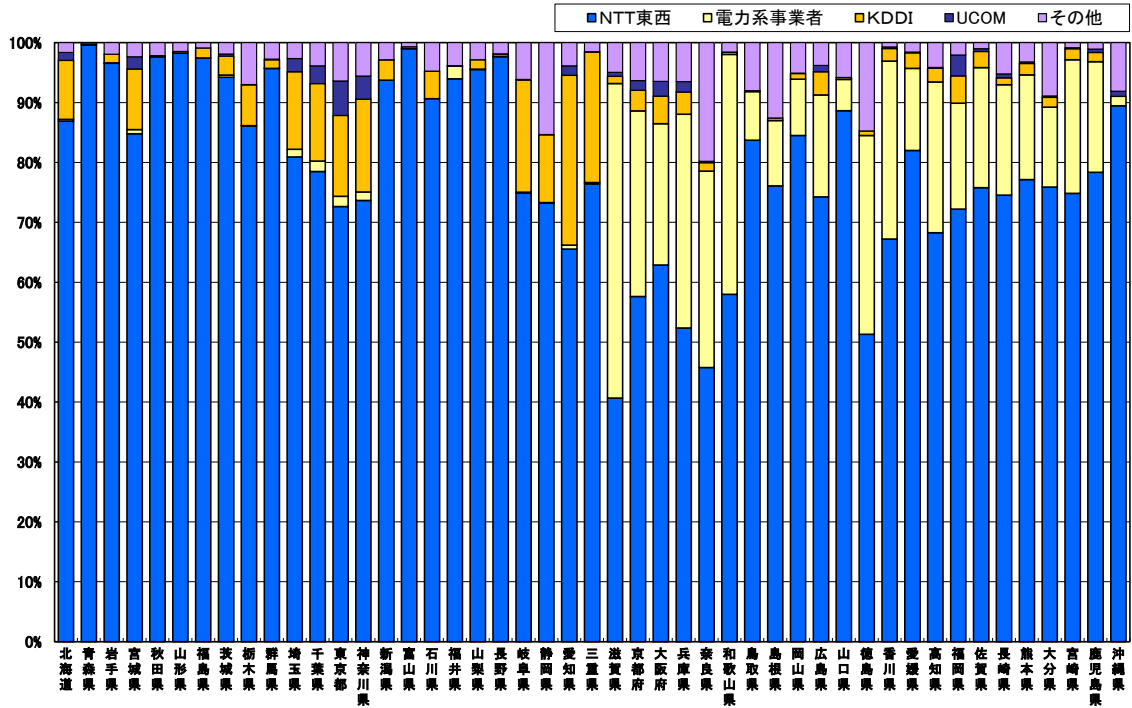
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（集合住宅向け）



注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

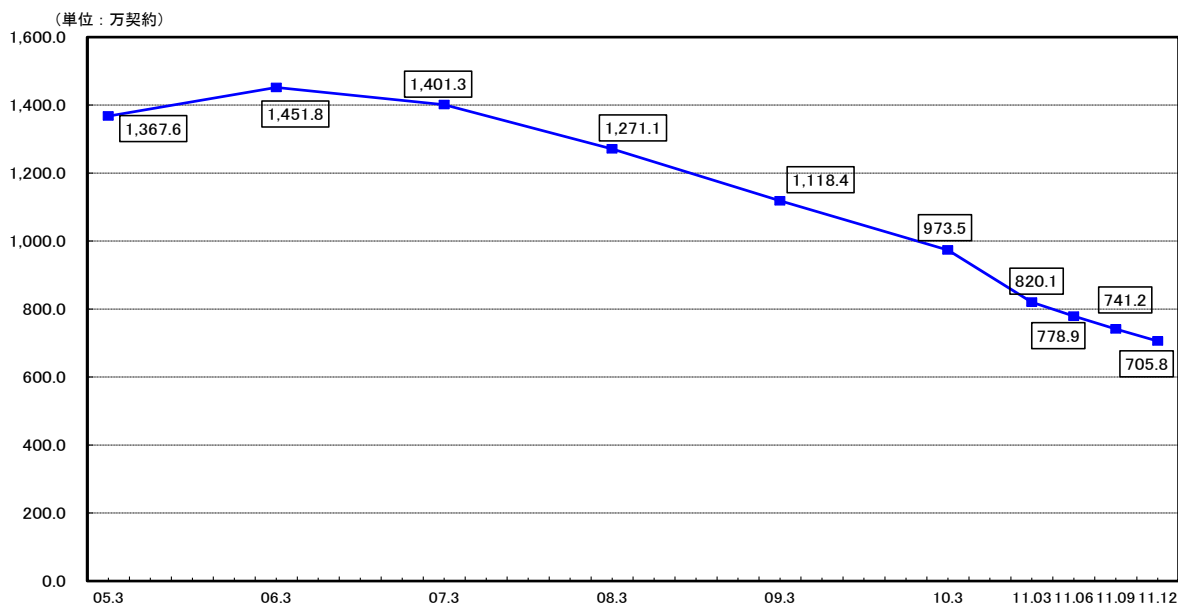
F T T H全体の契約数の都道府県別事業者シェア (11年12月末)



(3) DSL

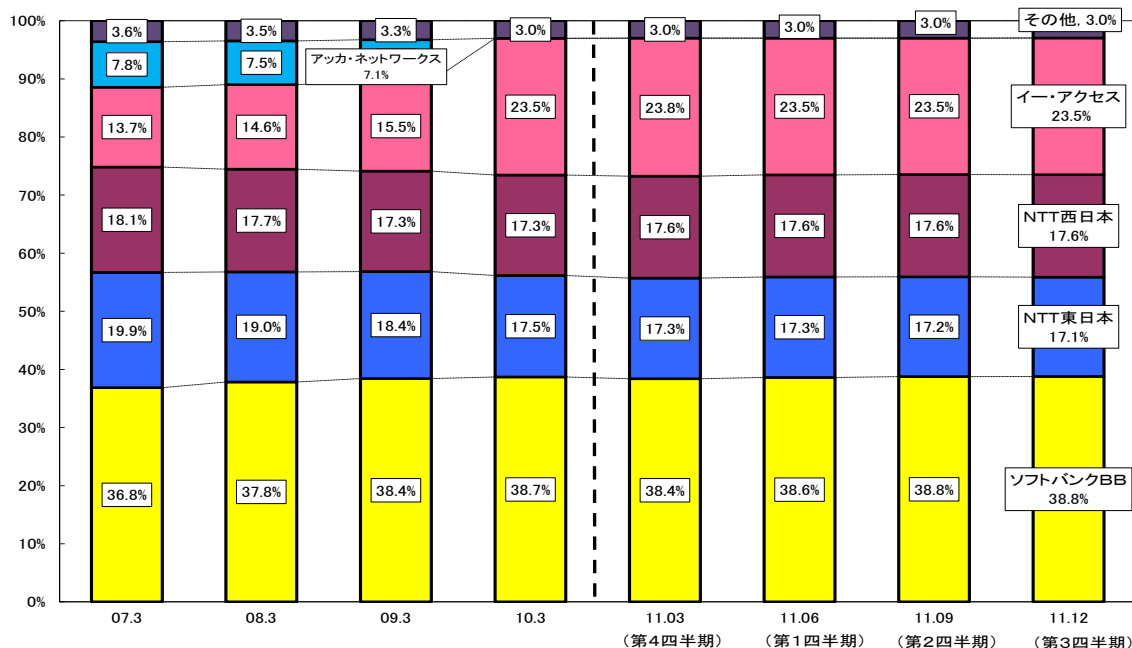
- DSLの契約数は11年12月末で705.8万（前期比4.8%減）となり、減少が続いている。
- シェアについては、シェア1位のソフトバンクBBは38.8%（前期比±0）、シェア2位のNTT東西は34.7%（前期比0.1ポイント減）とおおむね横ばいとなっている。

DSL 契約数の推移



注：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

DSL 契約数の事業者別シェアの推移（全国）



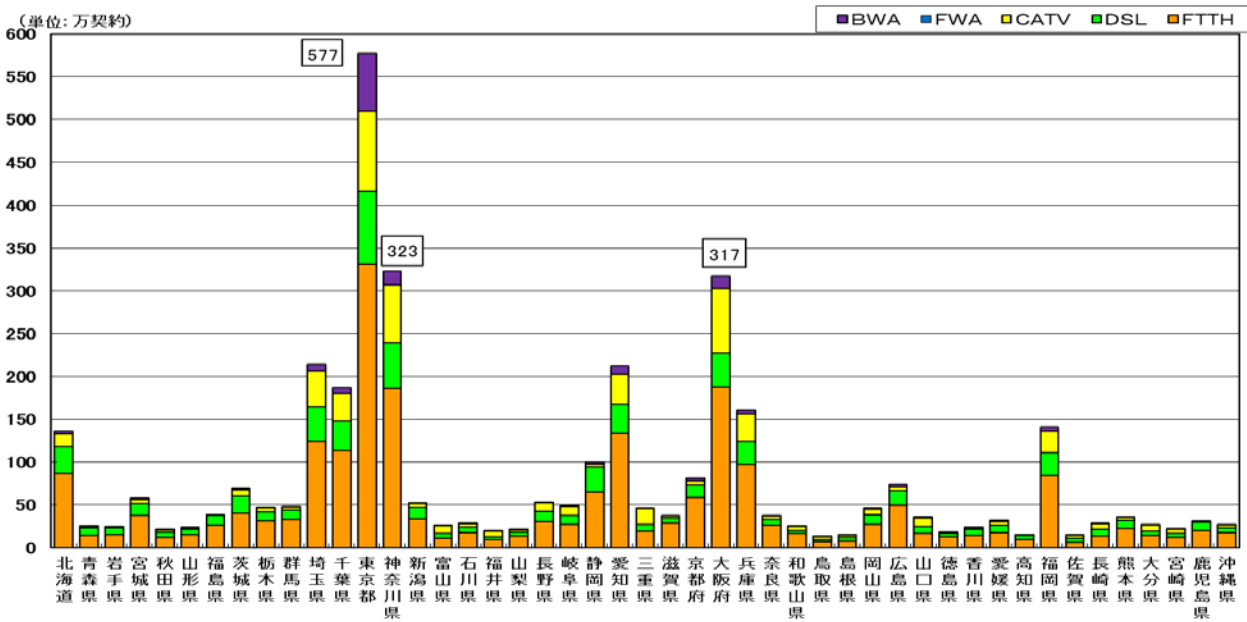
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) ブロードバンドサービス（3. 9世代携帯電話パケット通信サービスを除く。）の都道府県別契約数

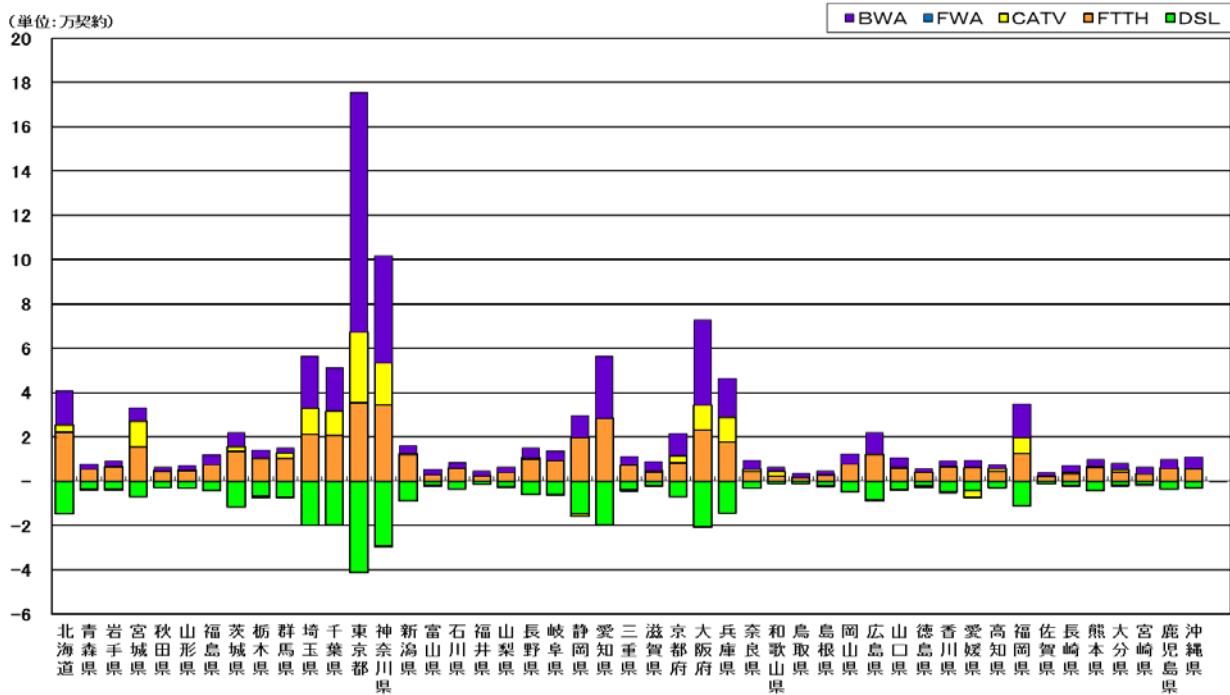
○ FTTHの契約数は全ての都道府県で増加し、DSLの契約数は全ての都道府県で減少している。

○ 全ての都道府県でFTTHが最も高い割合を占めている。

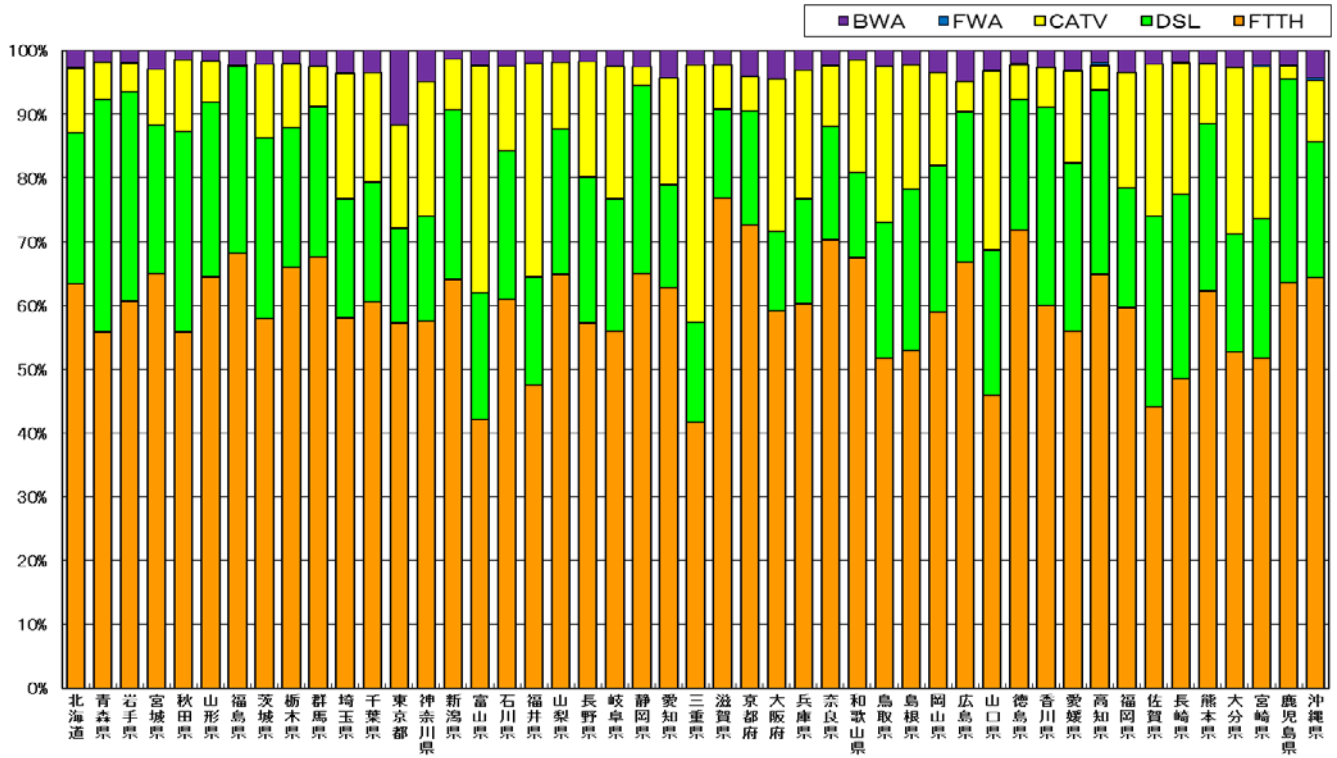
ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数



各ブロードバンドサービスの都道府県別の純増減数（対前期比）



都道府県別のブロードバンドサービスの比率



各ブロードバンドサービスの都道府県別提供事業者数

